

校長あいさつ

本校は、聴覚障がいのある幼児児童生徒を対象とした特別支援学校として、明治44年に創立された「私立岩手盲啞学校」を前身とし、110年以上の歴史を歩んでまいりました。昭和51年には現在地である盛岡市乙部へ移転し、単独の聴覚支援学校としては全国一の広大な敷地を有する教育環境を整えております。また、昭和12年にはヘレン・ケラー女史が来校し、児童が花束を贈呈したという貴重な記録も残されています。

本校には幼稚部・小学部・中学部・高等部・専攻科を設置し、寄宿舎も併設しています。令和8年度は20名の幼児児童生徒が在籍し、校訓「明るく 強く 正しく」のもと、それぞれの発達段階に応じた学習や異学年交流を通して、将来の社会的自立に向けて日々成長しています。

教育活動においては、補聴器や人工内耳を使用する子どもたちが確実に情報を受け取れるよう、補聴援助システム（ロジャー）を導入しています。さらに、全校集会や学校行事では手話通訳に加え、文字情報をスクリーンに表示するなど、誰もが安心して参加できるコミュニケーション環境の充実に努めています。

進路指導では、就職（民間企業・公務員）や大学進学など、多様な進路希望に応じた丁寧な支援を行っています。また、高等部卒業後も学びを継続したい生徒のために専攻科を設置し、職業能力のさらなる向上を目指した教育を行っています。

さらに本校は、県内における聴覚障がい教育のセンター校として、0歳児から高校生まで、幼稚園・保育園・小中学校・高等学校に在籍する聞こえない、聞こえにくい子どもたちへの支援にも取り組んでいます。

この恵まれた教育環境のもと、子どもたち一人一人の成長と未来のために、教職員一同、誠心誠意努力してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、今後とも温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月

校長 伊東 理俊